

誰と生きるか、
何を愛するか、
それが人生――

ふるさと へ帰りたい

GOING HOME

渋谷譲二 佐藤仁美

矢柴俊博 前田 健 小林且弥 熊崎雄大(新人) 佐藤 初 山田太一 窪田かね子・笑福亭鶴光 斎藤洋介 中丸新将 沼田 爆 小林かおり 河原崎 建三

村田雄浩 高畑淳子

監督:林弘樹 脚本:栗山宗大 企画:えな「心の合併」プロジェクト/ものがたり法人FireWorks プロデューサー:三浦 修 撮影監督:藤田秀紀

照明:江川 斉 録音:廣木邦人 美術:岩城南海子 衣装:村島恵子 ヘアメイク:宇都圭史 スチール:長谷良樹 CGI:坂井隆志 編集:宮崎 恵 音楽:宮本貴奈/菊地 謙太郎 題字:尾崎栄巖

協力:恵那市/岐阜県/恵那ふるさと映画支援の会 後援:消防庁/財団法人日本消防協会/日本商工会議所青年部 制作:ものがたり法人FireWorks 配給:NAKED INC.

©2011 / FireWorks / NAKED INC. / 恵那ふるさと映画制作実行委員会

あなたにとって、 “ふるさと”とは何ですか？

1990年、ある夏の日に、亀を助けた四人の少年。

2010年、映画の助監督を辞め、帰郷することになった主人公・勘治。

ふるさとを舞台に、二つの時代・物語が交差しながら進行していく。

消防団活動に巻き込まれる勘治は、少年時代の仲間たちが

「地域の平和」のために生きている姿を目の当たりにする。

一方少年カンジは、仲間たちと「ふるさとの平和を守る亀の子団」を結成。

ただただ遊び呆ける日々の中、夢中で描いた「竜宮伝説」という

冒険物語のスケッチブックや、お寺の映画上映会の体験などを通じて、

「映画監督」になる夢を抱く。

志半ばとなった「少年時代の夢」――

今まで振り返りもしなかった「田舎の現実」――

20年の時を超えて、「ふるさと」への愛情と葛藤が交錯していくのだった…。

「私たちは物語を生きている。」

カンジが描いた「ふるさとの物語」を通じて、その想いを届けていく。



フォーラム in 浜松：映画製作を通じた地域のヒトづくり ―恵那地域の絆を描く映画「ふるさとがえり」―

＊ フォーラム概要 ＊

【1月20日更新】

- 【主 催】 一般社団法人絆塾
- 【日 時】 2012年2月15日(水) 18:15～21:30 開場 18:00
- 【場 所】 アクトシティ浜松研修交流センター(楽器博物館階上) 6階62室
- 【参加費】 前売り2,000円
- 【定 員】 75名
- 【ゲ ス ト】 林 弘樹 監督
- 【プログラム】 挨拶、上映趣旨 18:15～18:30
上映 18:30～20:45
フロア一体トークセッション 20:45～21:30

【お問い合わせお申込み先】

一般社団法人絆塾「ふるさとがえり」上映実行委員会(代表 佐藤和枝)

E-mail furusato@kizuna-juku.jp

URL <http://www.kizuna-juku.jp>



林 弘樹 監督